

報告日 令和7年9月1日					
報告回次 1日目					
令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	一般社団法人岡山中央総合情報公社			代表者名	太田 昇
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	0868-66-2555
担当者役職	総務課長	担当者氏名	木田博之	連絡先E-mail	
住所	709-3717 岡山県美咲町原田3108-2				
1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）					
団体名	真庭市	連絡先部署	総合政策部総合政策課		
担当者氏名	藤森広崇	連絡先電話番号	0867-742-1169	連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	トップセミナー	事業名	基幹システム標準化・共通化事業		
概要	システム標準化・共通化の実装フェーズに向け、自治体首長および職員に向けた講演・情報提供を通じ、政策動向や技術トレンドを踏まえた施策検討のための専門的助言に加え、地域DXの展望や組織・人材マネジメントへの理解を促進し、現場での取組に役立つ具体的な助言をお願いしたい。				
支援を求める分野	自治体システムの標準化・共通化				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月27日	講演(実地)	15時00分	17時30分	
				活動時間（分）	150
2-2. 派遣場所	会場名	ザ・ヒルズハウス津山		最寄駅	岡山空港
	所在地	岡山県津山市大田831		最寄駅からの交通手段	車で送迎
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望					
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	前田 みゆき				
評価	良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体システム標準化について、経緯や最新の動向などを非常に分かり易く丁寧な説明をいただきました。				
アドバイザーへの要望事項	特になし				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	4人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数			4	首長6人
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	首長が強いリーダーシップをもって標準化を推進していくためには、制度的背景や国の政策動向、技術的課題を理解し、自団体の状況に応じた適切な判断を行えるようにしていくことが求められる。特に、移行後に顕在化する運用経費やシステム最適化の課題については、自治体間での情報共有と国からの最新情報の把握が不可欠である。 また、第三者（住民・議会棟）に対してわかりやすい説明が行えるよう知識の醸成を図る。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	標準化の目的や全体像を再認識することで、首長が自らの自治体において適切な判断を行い、リーダーシップを発揮できる体制を整える。また、標準化を単なるシステム移行ではなく「住民サービス向上」と「持続可能な行政基盤の構築」につなげる視点を獲得することを目指す。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">標準化の背景とこれまでの経緯（コロナ禍で明らかになった課題やデジタル庁創設の経緯）標準化の目指す姿（人的・財政的負担の軽減、新サービスの迅速展開、セキュリティ高度化など）ガバメントクラウドの意義と今後の方向性標準仕様書や適合確認試験の仕組み運用経費問題の最新動向と、国における見積精査支援・財政措置・経費抑制策の検討状況	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講演を通じて、標準化の意義や制度的背景が具体的に整理され、首長層の理解が一層深まった。特に、標準化の進展が「住民サービスの利便性向上」や「地域の実情に応じた柔軟な行政運営」に直結することを再確認できた点は大きな成果であったと思われる。 また、懸念の多かった運用経費についても、国による補助金・交付税措置、見積精査支援の強化など、懸念に対する具体的な対応策が示され、現実的な対応の方向性が見えてきた。 結果として、首長の理解促進とリーダーシップ発揮につながる有意義な機会となり、今後のシステム移行や地域DXの推進に向けて大いに役立つ内容であった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	限定された参加者（首長6名）であり、講演会后、意見交換を行ったため。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	構成団体（7市町村）の連携をさらに強めて、システム標準化を着実に進めていく。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	標準化システムへの移行により、業務効率化と住民サービスの向上を実現する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

